

**市民のための勉強会**

# 聞こえづらさの放置が 認知症につながる！

世界的な医学誌「ランセット」は、難聴を認知症最大のリスク要因としています。

最新の研究では、聴覚機能の劣化が視覚など他の認知処理に負荷をかけ、認知症の原因となる可能性も指摘されています。

他方、難聴を補聴器で補正することにより、リスクを小さくできることもわかってきています。聞こえづらさを放置せず、きちんとした知識を学び、予防に努めましょう。

「難聴」「耳鳴り」など「聞こえ」の問題に取り組む医学博士を招いてお話を聞きます。

**日時：3月18日（土）14：00～**  
(受付開始は13：30)

**会場：柏市中央公民館 4階集会室1・2・3**

**講師：神崎晶先生**

**参加費：無料。どなたでも参加できます。**

Zoomミーティングを用いたリモート参加もお受けします。

ご希望の方にはご案内状をお送りします。

最下段のアドレス(QRコード)宛にeメールでお申し込みください。

## 神崎晶先生 (国立病院機構 東京医療センター 聴覚障害研究室長)

「高齢者への補聴器装用は脳を変化させて認知症を改善させるか」と題する研究報告を昨年発表。補聴器6か月の装用によって脳内ネットワークに変化が生じ、認知機能の改善が見られたケースがあることなどを紹介しています。

この分野での医療機器開発、治療技術更改・開発、研究論文も多数ある第一人者です。



主催

社会保障推進柏市協議会・難聴者が元気になる会

お問合せ・お申し込み先

tel:070-3894-1217 (担当・アズマ)

e-mail: nanchoshaga\_genkininarukai@jcom.zaq.ne.jp

